



令和8年9月11日

小千谷市の千谷工業団地がGX戦略地域に認定されました

経済産業省が、産業資源であるコンビナート跡地や地域に偏在する脱炭素電源等を核として「新たな産業クラスター」の創出を目指して創設した「GX戦略地域制度」について、千谷工業団地が類型③脱炭素電源活用型(GX産業団地)のGX戦略地域に認定されました。

□市長コメント

本日、国が公表した「GX戦略地域」の認定地域において、小千谷市が新潟県と共同で申請し、有望地域に選定されていた千谷工業団地がGX戦略地域(脱炭素電源活用型)に正式認定されました。

昨年7月、地域産業を牽引してきた(株)JSファンダリが破産し、500名を超える従業員が解雇される中、この危機的状況から再生する方法として、GX戦略地域の可能性を研究してきました。今回の認定は、そうした挑戦が大きな一歩を踏み出したものと受け止めています。

当市の計画は、市内外の豊富な脱炭素電源の供給を基盤に、GX関連企業の集積による産業クラスターの形成を図るものです。また、特別豪雪地帯である当市の雪資源を冷熱として活用することや、立地施設から生じる排熱を養鯉等に活用するなど、これまで弱みとして捉えることが多かった雪を地域資源として活かすなど、地域特性と親和性の高いGXモデルを目指すものです。

今回の認定は、脱炭素電源供給に向けた取組や、脱炭素化と産業振興の両立を目指す当市の取組が高く評価されたものと認識しており、これを契機に、国の制度を効果的に活用し、関係機関と調整しながら、新たに企業立地に必要となる用地や脱炭素電力等の整備を加速させてまいります。

「みんなの一歩で、未来を変える」。その思いを大切にしながら、市民総参加で新しい産業と雇用を生み出し、誰もが笑顔で安心して暮らし続けられる持続可能な小千谷を目指して、引き続き挑戦してまいります。

1.制度概要

■類型①～③では、自治体及び企業が計画を策定し、参画したうえで、国が地域を選定し、支援と規制・制度改革を一体的に措置する。

■類型④では、国が脱炭素電源を活用する事業者支援を行う。

選定区分	類型
地域選定	①コンビナート等再生型
	②データセンター集積型
	③脱炭素電源活用型(GX産業団地)
事業者選定	④脱炭素電源地域貢献型

※制度の詳細は経済産業省ホームページをご確認ください。

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/gx_strategy_area.html

2.計画概要

団地名称	千谷工業団地（総面積：23.1ha）
計画概要	市内外の豊富な脱炭素電源の供給を基盤に、GX 関連企業の集積による産業クラスターの形成を図る。

	また、冬季間に集積した雪を活用した雪冷熱を立地企業へ供給し、団地内の脱炭素発電施設の排熱を養鯉等に利用することで、地域特性と親和性の高い GX モデルを目指す。
--	--

3.これまでの経過

- 令和8年2月 新潟県と共同でGX戦略地域の選定に向けて申請
- 令和8年4月 有望地域に選定
- 令和8年9月 GX戦略地域に認定(44か所中10か所)

4.今後の取組内容

企業立地に必要となる用地や、脱炭素電力等の整備を進め、関係機関と調整しながら、産業クラスターの形成と地域振興を目指します。

問合せ先	小千谷市商工振興課 担当／平澤・岩田 TEL:0258-83-3556
------	-------------------------------------